

番 号 : 141156
 国 名 : ナイジェリア
 担当部署 : 人間開発部保健第一グループ保健第二チーム
 案件名 : 保健セクター支援 (有償勘定技術支援)

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務 : 保健セクター支援
- (2) 格 付 : 3号
- (3) 業務の種類 : 専門家業務

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間 : 2015年2月下旬から2015年5月下旬まで
- (2) 業務M/M : 国内 0.65M/M、現地 1.83M/M、合計 2.48M/M
- (3) 業務日数 :

準備期間	現地業務期間	整理期間
10日	55日	3日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数 : 1部
- (2) 見積書提出部数 : 1部
- (3) 提出期限 : 2月4日(12時まで)
- (4) 提出方法 : 専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出又は
 郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル) (いずれも提出期限時刻必着)

※2014年2月26日以降の業務実施契約(単独型)公示案件(再公示含む)より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細については JICA ホームページ (ホーム>JICA について>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約(単独型)簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」 (http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204_02.html)) をご覧ください。なお、JICA 本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご注意ください。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等 :
 - ①業務実施の基本方針 16点
 - ②業務実施上のバックアップ体制等 4点
 - (2) 業務従事予定者の経験・能力等 :
 - ①類似業務の経験 40点
 - ②対象国又は同類似地域での業務経験 8点
 - ③語学力 16点
 - ④その他学位、資格等 16点
- (計100点)

類似業務	プライマリー・ヘルス・ケアに関連する調査・分析業務
対象国/類似地域	ナイジェリア/全途上国
語学の種類	英語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等 : 特になし
- (2) 必要予防接種 :
 - 黄熱病 : 入国に際してイエローカード(黄熱病予防接種証明書)の提示が必要です。

6. 業務の背景

ナイジェリア連邦共和国（以下、ナイジェリア）は、ポリオ常在流行国のひとつ（他はアフガニスタン、パキスタン）であり、2012年には全世界のポリオ発症例（223件）の半数以上（122件）がナイジェリア国内で発生した。こうした中、ナイジェリア政府は、ポリオ撲滅に向けて、拡大予防接種計画（Expanded Program on Immunization、以下、「EPI」）を通じた定期予防接種キャンペーンに加え、定期外補充予防接種（Supplementary Immunization Activities、以下、「SIA」）キャンペーンを集中的に実施しており、ナイジェリアでのポリオ発症例は2014年末時点で6件（全世界では350件）までに削減することが出来た。（WHO、2014）JICAは、有償資金協力「ポリオ撲滅事業」を通じ、SIA等に必要なワクチンを供与することにより、ポリオ撲滅に係る取組を支援している。こうした取組の結果、近い将来、ポリオの年間症例件数がゼロに抑えられることが期待される。同協力終了後にその状況が維持されるためには、ポリオワクチンの定期予防接種サービスの適切な運用が行われ、これによる高いワクチン接種カバー率が確保・維持されるようになることが条件である。しかし、現状では、ポリオワクチンの同国の定期予防接種による接種カバー率は67%（WHO、2013）と全世界平均の84%（WHO、2013）より低く、かかる条件を満たすことが十分に期待できない。したがって、「ポリオ撲滅事業」の開発効果を持続させるためには、定期予防接種率の向上にかかる課題が抽出され、これを解決するための方策をナイジェリアが講ずる必要がある。

他の開発途上国の多くと同様、ナイジェリアにおいて、ポリオワクチンはワクチンで予防可能なその他感染症（麻疹や三種混合等）とともに乳幼児の必須予防接種であり、これに関する定期予防接種サービスは、第一次レベル医療施設において、母子保健サービスやその他のプライマリー・ヘルス・ケアサービスの一環として提供される。したがって、ポリオワクチンの定期予防接種率の向上にかかる課題を抽出する上では、より広く、第一次レベル医療施設におけるプライマリー・ヘルス・ケアサービスに焦点を当てて、その課題を分析する必要がある。本専門家は、かかる観点から、現行の定期予防接種サービスの提供状況、住民のサービス利用状況、及びサービス利用に係る課題（物理的・財政的課題等）について調査・分析する。その後、その結果に基づき、ポリオワクチンの接種率を向上させるために必要な定期予防接種能力強化を図るために改善すべきプライマリー・ヘルス・ケア・サービスの課題を纏め、その解決に必要な対策を提言する。提言内容の実行については、別途実施中の技術協力プロジェクト「ラゴス州における貧困層のための地域保健サービス強化プロジェクト」を通じた支援を想定していることから、調査・分析の対象をラゴス州（上記技術協力プロジェクト対象地域であるEti-Osa地方行政区やその他ラゴス州保健省が推薦する行政区含む）とする。なお、提言は連邦レベルでポリオ対策を統括するNational Primary Health Care Development Agency（以下、NPHDCA）へもすることとする。

7. 業務の内容

本業務は、ポリオ撲滅に向けて重要とされる定期予防接種能力の強化を図るために、現在ナイジェリアが抱えるプライマリー・ヘルス・ケアに関する課題の調査・分析を通じて、必要な技術的提言を行うことを目的とする。

具体的な業務内容は以下のとおり。

（1）国内準備期間（2015年2月下旬～2015年3月上旬）

- ① 予防接種やプライマリー・ヘルス・ケア強化の分野で活動する国際機関等（Global Polio Eradication Initiative や Global Alliance for Vaccinations and Immunizations）等のナイジェリアにおける支援活動に関して情報を収集する。
- ② ナイジェリア保健セクター支援に関する資料（事前評価表や討議議事録等）を確認し、保健セクター支援（特に関連する有償資金協力及び技術協力プロジェクト）の内容について情報を収集する。
- ③ ナイジェリアにおける定期予防接種状況（特にポリオ）について、文献等から事前の情報収集を行い、現状想定される課題等を抽出する。
- ④ 技術協力プロジェクト専門家等と事前に案件の進捗内容に関して、情報収集を行う。
- ⑤ 上記①～④で収集した情報や課題分析結果をもとに、現地で確認すべき詳細情報を現地派

遣前にリスト化する。その後、現地で確認すべき詳細情報の収集や分析のための活動を含む現地派遣期間のワークプラン（英文）について、JICAと協議した上で、作成・提出する。

(2) 現地派遣期間（2015年3月中旬～2015年5月上旬）

- ① 現地派遣期間に実施すべき業務の計画をJICAナイジェリア事務所へ報告する。その後、C/P機関（ラゴス州保健省及びNPHDCA）と現地派遣期間中の業務工程、業務方針について詳細を打合わせる。（最終版のワークプランはJICA（人間開発部、ナイジェリア事務所）、C/P機関（ラゴス州保健省及びNPHDCA）へ電子メールにて提出のこと。）
- ② C/P機関（ラゴス州保健省及びNPHDCA）からの聞き取りや現地保健施設の視察調査等を通じて、以下の活動を実施する。
 - ア) ラゴス州におけるプライマリー・ヘルス・ケア・サービス運営に係る行政能力を調査し、その課題を分析する。
 - ・ポリオワクチン及びその他予防接種サービス運用に係る人員や予算配置、広報活動の実態を調査し、その課題を分析する。
 - ・主に一次レベル保健医療施設（ヘルスセンターやヘルスポスト等）での保健医療サービス運用に係る人員や予算配置、広報活動の実態を調査し、その課題を分析する。
 - ・関連行政機関（州保健省、プライマリー・ヘルス・ケア庁、行政区保健担当官オフィス等）における情報共有の状況を調査し、その課題を分析する。特に、患者数、必要医薬品及び物資の調達、人員の不足状況や補充リクエストの状況等を調査・分析する。
 - イ) ラゴス州における保健サービス提供に係る保健施設の機能・役割と、医療従事者等の人材の能力を調査し、その課題を分析する。
 - ・ワクチン管理（ワクチンの保存温度や在庫、廃棄）に係る状況を調査し、その課題を分析する。
 - ・ワクチン接種者の能力（予防接種に関する知識、ワクチンの運搬・保存の方法、接種記録の方法等）に関して調査し、能力が低い場合、その課題を分析する。
 - ・保健サービスの運用（サービス毎の患者数や薬剤の調達及び管理等）に係る状況を調査し、その課題を分析する。
 - ・医療従事者（特に定期予防接種サービスの促進を担う地域保健人材（community health worker (CHW) や community health extension worker (CHEW)）の活動状況を調査し、その課題を分析する。
 - ウ) ラゴス州における住民の保健サービス利用に係る状況を調査し、その課題を分析する。
 - ・保健サービス利用に係る課題（物理・社会・財政的課題）を調査し、その結果を分析する。
 - ・住民による保健サービスの認知度に係る調査を実施し、認知度が低い場合にはその課題を分析する。
 - ・保健サービスの利用に係るコスト（保健サービス利用に係る平均的財政負担の算出（患者自己負担額の算出）等）を調査し、各種サービスにおける受益者負担の違いを分析する。
- ③ 上記調査・分析活動の結果を考察し、定期予防接種能力強化を図るために改善すべきプライマリー・ヘルス・ケア・サービスの課題を纏め、同課題の改善に必要な対策を提言する。
- ④ 上記課題分析や提言を含めて、現地業務結果報告書（英文）を作成する。報告書はJICA（人間開発部、ナイジェリア事務所）、技術協力プロジェクトチーム、C/P機関（ラゴス州保健省・NPHDCA）に提出し、報告する。

(3) 帰国後整理期間（2015年5月上旬）

- ① 専門家業務完了報告書（英文）を作成し、JICAに報告する。

8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は（３）専門家業務完了報告書とする。

- (1) ワークプラン（英文5部：JICA（人間開発部、ナイジェリア事務所）、技術協力プロジェクトチーム、C/P機関（ラゴス州保健省・NPHDCA）へ各1部ずつ）

現地派遣期間中に実施する業務内容を関係者と共有するために作成。業務の具体的内容（案）などを記載。

- (2) 現地業務結果報告書（英文5部：JICA（人間開発部、ナイジェリア事務所）、技術協力プロジェクトチーム、C/P機関（ラゴス州保健省・NPHDCA）へ各1部ずつ）

記載項目は以下のとおり。

- ① 業務の具体的内容
- ② 評価結果の分析
- ③ 評価結果を踏まえた提言

- (3) 専門家業務完了報告書（英文3部：JICAへ提出）

記載項目は以下のとおり。なお、①～③は既に現地業務結果報告書にて記載されている事項であるため、同内容を本報告書内に記載願います。

- ① 業務の具体的内容
- ② 評価結果の分析
- ③ 評価結果を踏まえた提言
- ④ 業務実施上遭遇した課題とその対処
- ⑤ その他

体裁は簡易製本とし、電子データを併せて提出することとする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示にかかる見積書の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約における見積書作成ガイドライン」

(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。

留意点は以下のとおり。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます（見積書に計上して下さい）。

なお、首都アブジャ及びラゴス市におけるホテル宿泊の実泊分に関し、以下の宿泊料を上限とし積算を行うよう願います。

- 1) 首都アブジャ：17,300円/泊
- 2) ラゴス市：22,300円/泊
- 3) その他の都市：（コンサルタント等契約が定める宿泊料基準額）

- (2) アブジャ滞在日数

事務所所在地であるアブジャでの報告に際し、現時点では合計4日（着任時、帰任時で各2日程度）を滞在日数として、積算願います。なお、今後業務日程を検討するうえで日数変更する可能性があります。

10. 特記事項

- (1) 業務日程／執務環境

① 現地業務日程

現地派遣期間は2015年3月中旬～5月上旬を予定しています。2015年2月にナイジェリア国大統領選挙が予定されているため、現地情勢の悪化等の懸念がある場合は派遣期間を変更、もしくは派遣自体を中止する可能性があります。

② 現地での業務体制

ナイジェリア・ラゴス州では現在技術協力プロジェクト「ラゴス州における貧困層のための地域保健サービス強化プロジェクト」が実施中であり、下記の長期専門家が業務に従事しています。下記長期専門家による現地でのサポートは適宜可能です。

・チーフアドバイザー

- ・ 業務調整/実証研究
 - ・ 地域保健
- ③便宜供与内容
便宜供与事項は以下のとおりです。
- ア) 空港送迎
あり
 - イ) 宿舍手配
あり。事務所にて宿舍を予約します。精算は専門家自身で対応願います。
 - ウ) 車両借上げ
事務所にて手配・精算対応予定。
 - エ) 通訳備上
なし
 - オ) 現地使用携帯電話及びインターネットUSB
事務所から貸与します。
 - カ) 現地日程のアレンジ
事務所及び技術協力専門家が必要に応じアレンジを支援します。
 - キ) 執務スペースの提供
特になし。宿泊先ホテル等での執務をお願いいたします。

(2) 参考資料

- ①本業務に関する以下の資料がJICAのウェブサイトで公開されています。
- ・ プロジェクト概要や関連資料
 - 有償資金協力
(http://gwwweb.jica.go.jp/KM/KM_Frame.nsf/NaviIndex?OpenNavigator)
 - 技術協力プロジェクト
(http://gwwweb.jica.go.jp/KM/KM_Frame.nsf/NaviIndex?OpenNavigator)

(3) その他

- ①今般の業務ではポリオ等定期予防接種に係る評価・調査業務が含まれるため、類似の業務経験があることが望ましい。
- ②業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ③ナイジェリア国内での作業においては、JICAの安全管理措置を遵守するとともに、JICA総務部安全管理室、ナイジェリア事務所の指示に従い、十分な安全対策措置を講じることとします。

以上